

夢じゃーなる

Vol.
19

阪神北地域ビジョン委員会だより

伊丹・宝塚・川西・三田・猪名川 4市1町



世界田植え選手権の様様（関連記事 8 ページ）

目次

◆ グループ活動紹介	2~4
◆ イベント報告・ビジョン委員からの提言	5
◆ 地域だより「ふるさとと心をつなぐ再発見」	6、7
◆ イベント予告「世界稲刈り選手権」	8



多世代交流グループ “じばヤング”

豊かな家族・家庭 … 気持ちはつながっています

○1月28日 大手前大学において、恒例の「若者と語ろう会」を開催しました。



熟年世代からは「電車内で化粧することは恥ずかしい行為」だという意見、若者世代からは「危なっかしい自転車走行はやめてほしい」という意見。お互い言い分も納得できる場所もありましたが、すれ違いの世代間で同じ時間を共有できたことがとても嬉しく思いました。

その後、学生さんから「お互い嫌だと感じることや、熟年世代の方の意見を聞くことができ、自分も直していくところがまだまだあると思った」、「若者世代はまだ知らないことが多いので、熟年世代からの体験談が聞けてとてもよかった」といった感想を頂きました。

短い時間ではありましたが、私たちは若年の時を懐古し、また、若者たちの未来へエールを送る良き交流の時間となりました。

○3月16日 伊丹市子育て支援センターのつどいのひろば“むっくむっくルーム”を訪ねました。

私たちは、0歳から2歳くらいの子供と一緒に遊んでいる20歳代から30歳代前半のお母さん方とそれぞれに子育てについて語り合いました。最初はなかなか話題に入って行き難い面もありましたが、昔取った杵柄を發揮して活発な話し合いができました。若いお母さん方にとってシニアのちょっとした手助けや助言で嬉しかったこと、そしてどのようなことで困ったか、どんな悩みがあるのかを知ることができました。



メンバーの中には、躰について尋ねられ少し慌てたり、久しぶりに赤ちゃんを抱いて嬉しかったことなど、貴重な体験ができました。子どもを介して肩肘張らずに話せたのは大変良い思い出になりました。



みんなでランラングループ

ご一緒に楽しみませんか？

3月13日(土)、伊丹市の介護老人保健施設「グリーンアルス伊丹」では、80名を超える観衆の前で演技披露。2週間後の3月28日(日)には、伊丹市の有料老人ホーム「ボンセジュール伊丹」で40名の観衆を前に演技を披露しました。両所共「お笑い」と「癒やし」の出前演技にやんやんやの喝采を浴び、好評を博しました。

今後も委員一同、心を一つに、演芸を通じて温かい心を配達していこうと思っております。

みなさまの地域のお祭りや各種施設での行事の計画や情報がございましたら、どうぞお気軽にお声をかけていただきますよう、お待ちしております。



演歌



腹話術



南京玉すだれ



地域活動のしくみづくりグループ

皆さんのコミュニティは元気ですか？

メンバーは、コミュニティの様子が違うそれぞれの地域に住んでいます。共通していることは昔ほどには『ご近所』との交流がないことです。

お隣さんとは時々しか会話をしないし、「斜向かいのおじいさんは近頃あまり姿をお見かけしないけど、もしかしてご病気かしら?」と試みるだけで終わっています。このようなことでは、いつかの様な大きな地震がやって来たら、一体どうなるのだろうかと不安です。

4期に引き続き『災害時要援護者支援制度』に学ぶ中で、自治会など隣近所とのお付き合いの大切さ、助け合い(共助)の重要性を知りました。『共助』のしくみが定着すれば、いま暮らしているあなたの地域が安心して暮らせる街になると思いませんか。



川西市大和団地の避難訓練

新しいことを始めなくても、例えば、近所の公園の清掃をするグループ、趣味のサークル、同じゴミステーションを使用しているグループ、回覧板をまわすグループ、時々お茶を飲むグループなどの既に始まっているグループで、いざと言う時にお互いに助け合うしくみを考えてみてはいかがでしょうか。そして、年に1度、例えば1月17日に、お互いの安否確認をする事を目的に、災害を想定して集まりましょう。新しい気付きがきっとあります。



グループ会議

であいたいグループ

地域密着シリーズ①

【川西市との土地利用計画に関する意見交換会】 2月26日

- ・午前中、阪急川西能勢口～JR川西池田駅周辺探訪（能勢電旧線路跡、栄根廃寺跡、旧商店街他）
- ・午後は、川西市の中央北地区整備室と「中央北地区土地利用計画」について意見交換を行いました。

明治以降、皮革製品の生産地として発展、第二次大戦や朝鮮戦争軍需をへて大きな産業となる。最盛期は100社以上の業者が工場を経営。しかし、安価な外国製品、産業構造の転換、不況のあおり等で残された数社も姫路地区へ集約移転しました。



川西市との意見交換会

22.3haの広大な跡地(半分が市保有、半分は民間保有)を、産業ゾーン、集客ゾーン、公益ゾーン、生活ゾーン、中央公園などに分ける計画。

集客ゾーンの目処がたっているのか、市と市民の連携が弱い、どんなまちづくりを描いているのか見えてこない、防災上の課題はどうか、大学等の誘致を積極的に展開してはどうか、大型商業施設は近隣にも多く出店は困難、いつになったら動き出すのか等の積極的な意見が出て、充実した意見交換会となりました。

今後もグループとして見守っていきたいと思います。



中央北地区工場移転跡地



みどりの「環」グループ

“みどりの大回廊の環”を情報発信

みどりの「環」グループの活動も既に一年を経過しました。活動目的を「巨樹、巨木(保護樹)、広域公園、社寺の杜、里山、ふれあいの森、自然歩道、散策道、街路樹、河川、水辺アメニティ等の緑の資源を発掘し、地域の風景、景観づくり、自然と共生する街づくりを実践します。自らの目で触れ合い、自然に溶け込み、個々の緑の環境資源を点と線をつないで、4市1町の緑の広域特性“みどりの大回廊の環”として情報発信します。」

各市町はそれぞれで完璧、詳細な歴史、みどりに関する資料が揃っておりますが、4市1町すべてを網羅するマップとなるとなかなか見あたらず、県、市町指定の保護樹、公園等中心に、また、我々独自の視点で捉えた価値ある緑を選び、広域マップを作成しました。

この一年はマップづくりに専念しましたが、今般、4月24日、25日「宝塚市花と緑の協会」主催による「花とみどりのフェスティバル」に出展しました。あいにく、24日は風雨が強く、来場者も低調でしたが、25日は好天に恵まれ、来場者も推定5万人を超え、当グループの展示にも約500名の方が来訪されました。

主な出展概要は、「兵庫県まちづくり基本計画」、「阪神北地域ビジョン行動目標」、緑に関するパンフレット、資料配付等、特に好評であったのは、「阪神北みどりの環」総合マップや宝塚市みどり検定(特選された緑の写真と位置図を当てるゲーム)で30点の写真により位置を特定できる方が多く、この地区の皆さんの自然と地域に対する愛情、関心の高さに改めて緑を守り続ける必要性を感じました。



花とみどりのフェスティバル出展風景



宝塚すみどり検定の様子

さて、一枚の地図は完成しましたが、我々の任期も残すはあと一年、いかに課題を実行するか、幸いにして我々の住む都市近郊は豊富な緑を残してくれております。しかしながら、個人住宅の売却等により、残しておきたい樹齢40-50年の桜、樺など無惨に次々と切り倒されていくのが現状です。やむを得ないこととは思いますが、我々が次世代に託す思いは緑と共生すること、大切にすること、周辺の沼、池、ため池に生息する多様性生物の保護、環境保持に若い世代とともに従事することが課題と考えています。県は「生物多様性ひょうご戦略」、阪神北県民局も「都市に隣接する豊かな自然」「総合力を発揮して地域の魅力アップを目指す」という主要施策を打ち出しています。我々も行政との連携を密にし、「みどりの環」に「人との環」を重ね、地域の環境保全に努めていきたいと思っています。

阪神北地域夢会議 さわやかフォーラム

～語ろう夢を! 地域を超え 世代を超えて～

平成22年3月7日(日)13:00～16:00 交流会16:00～
大手前大学 いたみ稲野キャンパス 88名参加

阪神北地域を“もっと素
敵なまちに”しませんか。

「私たちのまちは私たちで
つくる」という意識を持つ人
の輪が広がっていきます。
阪神北の将来像を4つの
視点から、参加者で活発に
意見交換をしました。



〈発表された主な意見〉

- ・ 対話による信頼関係の構築
- ・ 住み続けたいと思えるまちづくり
- ・ 開かれたコミュニティづくり
- ・ 都市と農村の共存



「アフリカの水事情」講演会

日時：平成22年3月5日 県民局にて

講師：専門委員 今井一郎先生

(関西学院大学 総合政策学部 教授)

主催：水グループ



世界の水域について、世界の水資源と水事情を概説された後、アフリカ大陸の水事情をお話しされた。自然に強く依存した暮らしを営む人々を研究する生態人類学的調査の一環とのこと。

「北ケニア」の砂漠、年間降水量200mlの乾燥地帯で、牧畜民ガブラが生活している。川に水がなく雨が来ると流れができるので、できるだけ綺麗そうな場所を選んで、手ですくって水を飲む。

「ザンビア」の湿原での漁労活動。乾期に水路の土手の季節小屋で、魚の種類と漁獲量の統計調査をされた。トイレをするのに時間と場所を見計らう苦労など、我々現代日本人に経験できない原始生活にどっぷり浸かられたご経験を、たいへん興味深く伺った。

ビジョン委員からの提言

生活道路における自動車の通行について

阪神北地域の市町においては市街地の道路が矮小なところが多く、また近年高齢化に伴い車椅子や電動車椅子の利用も増えていますが、自動車が来るとすれ違いが困難のところも自動車の通行が許容されています。

物理的に自動車が通行出来るところはどこでも自動車の通行を容認する現在の状態を改め、環境と安全のため、特に通行の必要性がなければある程度以上の広さのない生活道路では、自動車の通行規制をするべきと考えます。(K.H)



魅力的な阪神北とは…

情報化、グローバル化の時代に、「阪神北構想」を考えてみませんか?この際「4市1町」を統合したらどうなるかを真剣に考えると、この地域の将来像(夢)が見えてくるのではないのでしょうか。

現在の地域特性を生かし、創造することにより、他地域にはない「魅力高めるまちづくり」の重点施策(広域インフラ・都市計画・自然環境・都市景観・歴史遺産ほか)に大胆に取り組むことが可能となります。ビジョン委員はせっかくの阪神北地域の集まりなので、大きな目で将来を見据え、展開するチャンスと思われます。(K.T)



ふるさとと心をつなぐ再発見 —歴史と豊かな自然を訪れて—

阪神北は、武庫川、猪名川を始め芋生川、阿古谷川、波豆川等大小50余の河川が縦横に流れ、それぞれの流域には歴史・文化が育まれ、豊かな自然が色濃く残されています。今日は日頃忘れかけていた身近な「ふるさと」を求め、三田市、猪名川町、川西市、宝塚市、伊丹市の順に訪ねて、地域再発見の旅に出掛けてみました。

三田市

① 三田音頭会

「ハァー コリヤ」「ハァー ソレ エッサドッコイ」「アァー アレワイナ コレワイナ」…太鼓と三味線、合いの手に体が思わずリズムを取り始めます。「第32回三田まつり」(8月7日夜開催:三田まつり実行委員会主催)の市民総おどりへの出演に向けて練習真っ最中の郷の音ホールを訪ねてみました。

三田音頭は昔から広い地域(多可町～宝塚市北部～猪名川町)で唄い継がれてきました。囃子は、地域で様々であったのを三田まつりにより一本化されて今の音頭があるとのこと。



猪名川町

② 猪名川天文台 アストロピア

猪名川の源流である大野山(おおやさん)標高753m山頂に直径50cmの天体望遠鏡、季節の星空解説を自動的に行えるプラネタリウムなどが設置されています。猪名川町のこんな所に天文台があることご存知でしたか?

人は太古、漆黒の闇から夜空を仰ぎ、あれは白鳥、あれは琴、あれが蠍と現代人には無い鋭敏な感性で星空を見上げ、人は航海に天候に宇宙の星を探し砂漠を渡る隊商はその針路を星に託し、キリストを見守った3人の博士も星を頼りに旅を続けたことでしょう。

星を眺めてみませんか。望遠鏡を通して見る荒涼とした星座群を見るにつけ大宇宙に浮かぶ唯一水と空気に恵まれたこの星を大切に守って行きたいと感じられることでしょう。



③ 寒天の里から

かつてはこの周辺地区にも10数軒の寒天生産農家がありました。生産に必要な寒暖の差が近年の暖冬から生産維持も難しく廃業が相次ぎ、現在では猪名川町下阿古谷地区で明治18年創業4代目井谷恭一氏が営まれる1軒のみとなりました。昔ながらの天日乾燥製法を守り良質な製品を作り続け、全国の和菓子・製菓業者には欠かせない材料として重用されています。



昔ながらの天日干し風景

頼もしい後継者

(4月26日撮影)

川西市

④ サイダー発祥の地



川西市平野は日本のサイダー発祥の地です。炭酸入りの鉱泉水は「平野水」と呼ばれ明治17年平野に炭酸工場を建設。明治40年から昭和29年まで三ツ矢サイダーの工場があり、ピークは大正時代でサイダーを国内外に出荷、当時は東洋一と言われました。平野水は大正天皇の御料品として宮内省に納入、そのため金庫室のようなお詰めの建物がありました。三ツ矢の印は一説には多田の郷土の家紋をデザイン化したものとのこと。

日本で最初に製造された工場も現在は売却され跡地は整地され工場の面影はありませんが、唯一サイダー塔と記念碑に僅かに往時がしのべれます。

⑤ 無花果(いちじく)畑の中で

昭和初期、榊井光次郎博士が仏の友人からもらったドーフィン種を持ち帰り果樹園であった川西に注目し、加茂・久代地域で栽培し拡げました。無花果の生産は100年以上の歴史を持ち、優れた栽培技術、良質な土と水と相まって完熟度、甘さ、大きさ、色つや等は日本一の評価をえて現在でも80軒以上の農家の方々が生産に携わっておられます。無花果は鮮度が命。生産期には朝3時より収穫され、この新鮮さが無花果の揺るぎない評価を保ち続ける要因となっております。



5月25日撮影

宝塚市



愛・平和・祈り…

⑥ カトリック御受難修道会 黙想の家

阪急電車売布駅北側徒歩3分、街の喧騒を外に鬱蒼と茂る木立の中に純和風建築の館が佇んでおります。禅寺的な風情ただよい、静謐、時が止まったような空間です。普段は公開される事はありませんが、年1度11月23日は一般の方にも利用できますので秋の一日瞑想に耽ってみては如何でしょう。

伊丹市

⑦ 大阪国際空港 翔ぼう、未来へ向かって

昭和13年大阪第2飛行場として開港、一時期米軍の接収を受け昭和34年より現在の大阪国際空港として再開港。以来幾多の方々の様々な想いを胸に舞い上がり舞い降りたことでしょう。

平成18年滑走路に隣接し飛行機の離着陸が間近で見ることの出来る緑地公園伊丹スカイパークが開設されました。夜間はライトアップされ、雨の日は水しぶきをあげる迫力ある飛行機を見ることができます。飛び立つ飛行機を眺めながらこれからも未来に向けて飛び上がり、飛び続けられることを思い黄昏迫る飛行場を後にしました。



これで私たち広報部会員の充実した小旅行も終わりです。



参加者・お手伝い募集

世界稲刈り選手権

主催／兵庫県阪神北地域ビジョン委員会
らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ

趣 旨

子どもたちに感じてほしい。私たちに一番身近な土、そして人との関わりを。世界稲刈り選手権で心地良い土との空間を創造し、人と交流しましょう。

日時：平成22年10月10日(日) 10:00～15:30 午前9:30受付

場所：三田市東本庄(田んぼのなか)

※相野駅より徒歩約20分、駐車場あり。

競技内容

きれいに刈る・思いやり・衣装・動作・アイデア・その他

募集内容

当日参加者及び当日のスタッフ

稲刈りが出来る人など

・国籍を超え、世界稲刈り選手権の趣旨を世界に広めてくれる人



募集締切

平成22年9月10日(金)

主 管

「ECO こどもとの空間」G

実践活動

阪神北地域ビジョン委員会(こどもと地域の環境会議G、水G、みどりの「環」G、めだかG)

協力予定

兵庫県立有馬高等学校(農業クラブ)、関西学院大学(学生)

後 援

三田市、三田市農業委員会、三田市教育委員会、
こころ豊かな人づくり500人委員会阪神北OB会

グループ 活動紹介



国崎クリーンセンターで餅つき



阪神北 ECOクリーン隊 枯れ葉堆肥作り



世界田植え選手権の様様

連 絡 先 阪神北県民局地域企画課 0797-83-3117

** イベントスケジュール **

平成22年10月10日(日) 「世界稲刈り選手権」開催。三田市にて、らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ担当

平成22年11月21日(日) 「地域見本市 育もう!地域の夢と未来、私たちの絆～WE♡阪神北～」開催。
猪名川町にて、シンボルプロジェクトグループ担当

広報部会から

人は、人と人、人と自然との触れ合いの中で生活・活動することによって、生きがい・生きる喜びを実感するもので、第5期ビジョン委員会の各グループも、このような心で日々活動を続けております。また、阪神北地域には、すばらしい地域がたくさんあり、そこでは、いろいろなグループなどが活動され、輝いておられます。「夢じゃーなる」では、今号から、ビジョン委員会の各グループ活動の状況に加え、このような地域の様子も「地域だより」としてお伝えし、読者の皆さんが、地域を考え、そして今後、活動される参考になれば幸いです。

2010年7月

発行：阪神北地域ビジョン委員会

(連絡先) 〒665-8567 宝塚市旭町2-4-15

阪神北県民局 総務室地域企画課

TEL 0797-83-3117 FAX 0797-86-4379

HP http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html